

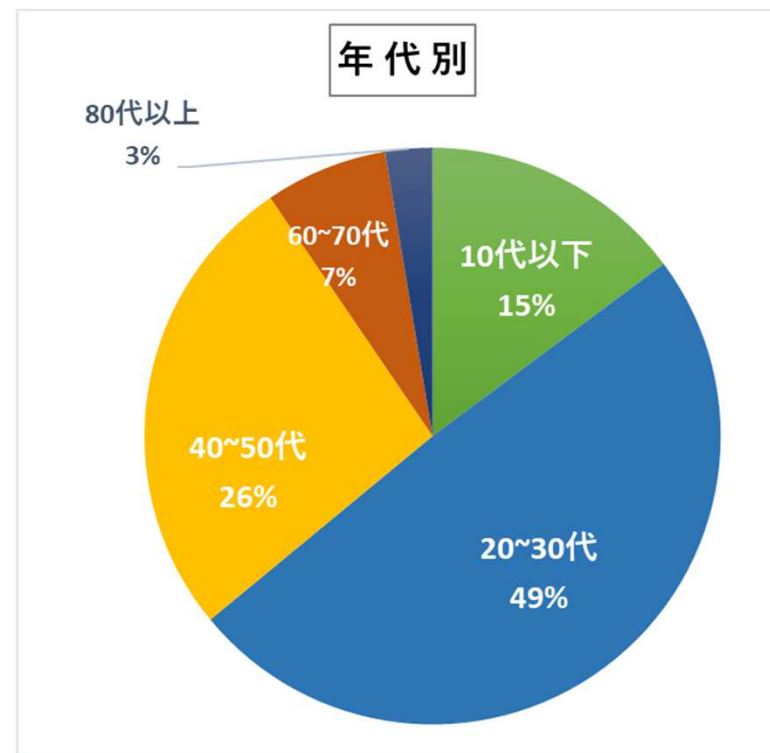
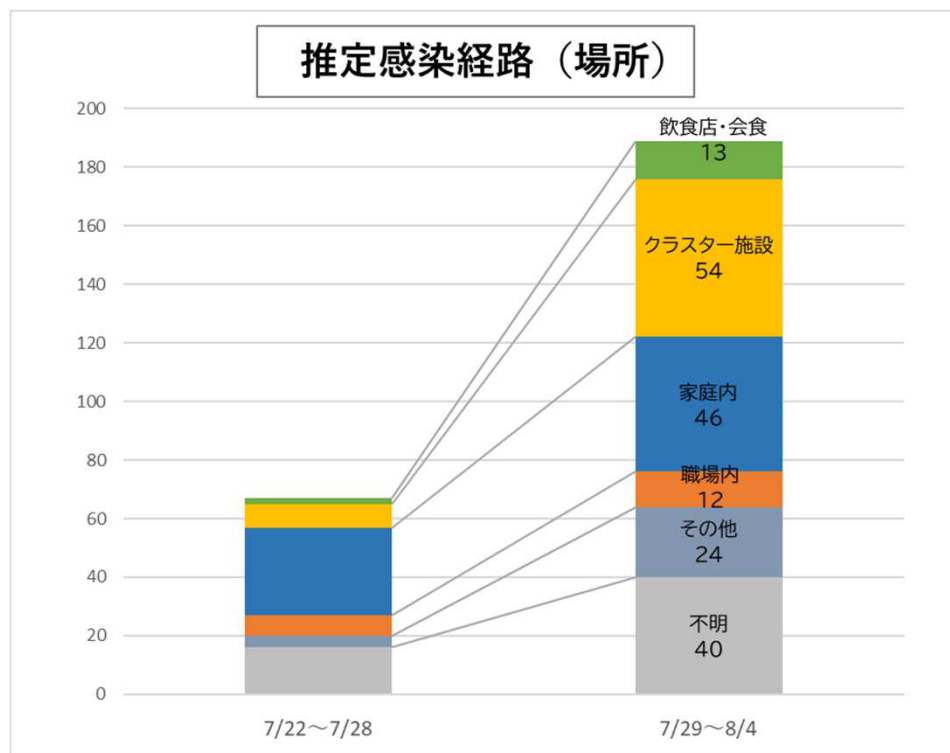
令和3年8月5日

鳥取県知事定例記者会見

直近1週間の新型コロナ感染の傾向

【期間：7.29(木)～8.4(水)】

- **デルタ株疑いが全体の約7割**
- **クラスター施設感染者が1/3占める**
- **鳥取市繁華街の飲食店・会食での感染確認が急速に増加（複数店舗に拡大）**
- **30代以下の若年層が約7割**



直近の感染状況を踏まえた緊急対策

- 鳥取市繁華街にある飲食店への緊急巡回を実施（鳥取県・鳥取市合同）
- 飲食店関係者のための緊急対応PCR検査センターを開設（場所：鳥取県東部庁舎）
- 鳥取市保健所の体制強化（県コロナ本部からも職員を派遣、クラスター一班の派遣）

※更に、強い対策についても検討

ライブ演奏のある飲食店の感染防止強化

ライブ演奏のある飲食店の緊急点検の実施結果(7/28-30)

◆鳥取市、米子市の13店舗を巡回により確認

- ・観覧スペースの席半減など、感染防止対策を講じて営業 5店
- ・ライブ中止(飲食のみ) 5店、休業等 3店

◆見直したガイドラインにより、さらなる感染防止対策を要請

感染力の強いデルタ株に対応したガイドラインの強化


- ・ステージと観覧スペースの間にビニールカーテン等を設置して遮蔽
- ・換気扇は常時稼働、会場の窓やドアを開放し給気と排気を確保
- ・観覧スペースでは距離を確保、マスク着用の徹底・大声を出さない
(追加対策経費に支援)

⇒対策のない場合は、当面ライブ演奏を控えていただくことも

感染急拡大時における医療提供体制

「鳥取方式 + α 」の堅持により、中等症以上も早期入院

- 早期入院によるメディカルチェック
- 軽症者等も「メディカルチェックセンター」で検査等を実施
- 宿泊療養施設の増設を調整中
- 在宅診療におけるオンライン診療など更なる体制強化
(医療提供体制について医師会・看護協会等と緊急協議)



重症化リスクのある者を優先して入院へ

【参考】患者急増地域における患者療養に関する政府方針

- 入院は重症患者や重症化リスクの高い者に重点化
- 中等症以下は自宅療養を基本
- 家庭内感染のおそれや自宅療養ができない事情等がある場合に宿泊療養を活用

抗体カクテル療法の体制整備

中和抗体薬の投与（抗体カクテル療法）体制を早急に整備

- 新型コロナウイルス感染症の治療薬として新たに特例承認
- 2種類の中和抗体薬「カシリビマブ及びイムデビマブ」（販売名：ロナプリーブ）を点滴投与する軽症・中等症を対象とした初の治療薬
- 政府が管理し、登録病院へ配送
- 県内の入院協力医療機関はほぼ登録済み（一部登録手続中）

（参考）抗体カクテル療法

早期投与により、重症化予防が期待できるが、供給量が限られるため、当面入院患者のみ適用。
海外での治験では入院や死亡のリスクを約70%減少させることが確認されている。

新型コロナウイルスワクチン接種の促進

市町村の接種推進

- 接種に必要なワクチンの確保 ⇐ 県が仲介し、過不足調整
 - ・ 共同接種体制を構築している市町村間の調整
 - ・ 余剰が生じた市町村のワクチンを不足している市町村に仲介
 - ・ 調整枠の有効活用
- ⇒ 本格化している65歳未満接種に市町村が必要な量を確保可能に
- 接種が進んでいる市町村による他市町村の接種希望者の受入れ
例) 東部1市4町における共同接種体制による市町村間調整

壮年層・若年層への情報提供の促進

新聞広告、ラジオスポット、県政だよりに加え、影響力のある方による動画配信やSNS等インターネット媒体を活用し、ワクチン接種に向けた正しい選択ができるよう情報発信

職域接種の総合的な推進

8月中の本格開始に向け、市町村、医師会、鳥大等と連携し、県が不足人数の充足や医療人材を確保し、円滑な実施に協力

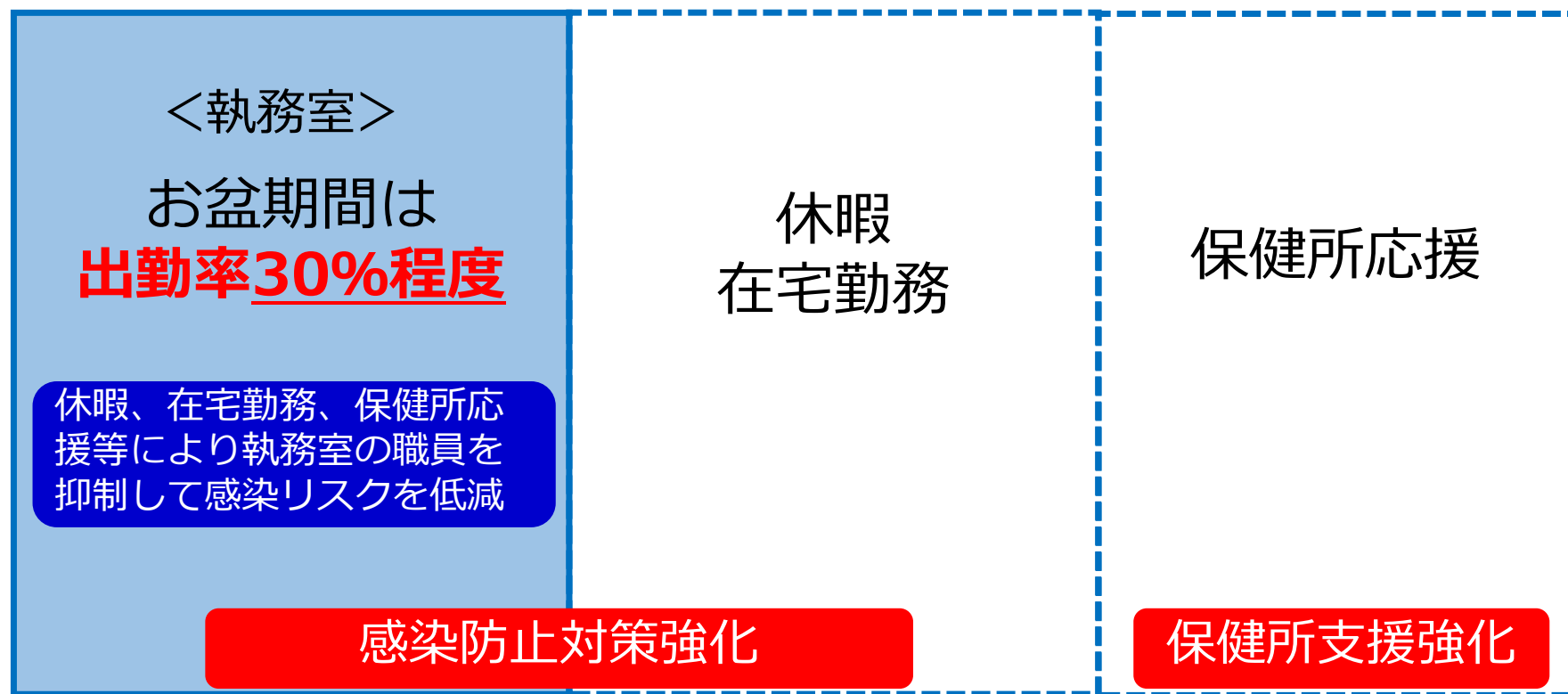
**65歳未満の
接種を加速**



とっとりクールダウンウィークと連動した県庁出勤抑制

新型コロナ感染防止と保健所への支援強化を図るため、とっとりクールダウンウィークの取組を活用しながら職場の出勤者を抑制する。

本庁の各職場における出勤パターン



砂防堰堤の緊急点検の実施について

- 7月7日からの大雨により砂防堰堤堆砂敷（ポケット）が満砂に近い状況が発生。

連続雨量400ミリを観測した地域にある砂防堰堤32基について、土砂の堆積状況を緊急点検。

（点検を行う堰堤）

- ・32基：琴浦町1基、倉吉市3基、三朝町10基、湯梨浜町7基、鳥取市西部11基

■ 実施方法

- ・点検時期：8月上旬
- ・点検内容：堰堤水通り高から堆砂面までの高さ
異常な堆積土砂や流木の有無

■ 点検結果を踏まえた対応

- ・緊急性が高いものは、令和3年度当初予算（建設災害復旧費関連）等を活用し、早急に土砂撤去を完了させる。
（今後の台風等に備え順次実施）

今回の大雨で満砂となった砂防堰堤の例



点検イメージ



盛土等の規制を行う条例の制定に向けた検討

「盛土等安全確保アドバイザー」会議

■ 設置目的

不適切な盛土・切土や斜面に設置する工作物による土砂災害を防止するための新条例の策定について、技術基準等も含め専門的に検討

■ 検討項目

- ① 盛土及び切土の安全性
- ② 工作物を設置する斜面の安全性
- ③ 建設発生土の処分に係る安全性
- ④ 許可制・罰則等の手続

■ アドバイザーの構成

条例の基準等に関連する分野（防災・砂防・地質・土質）を専門とする研究者4名で構成

■ 今後のスケジュール

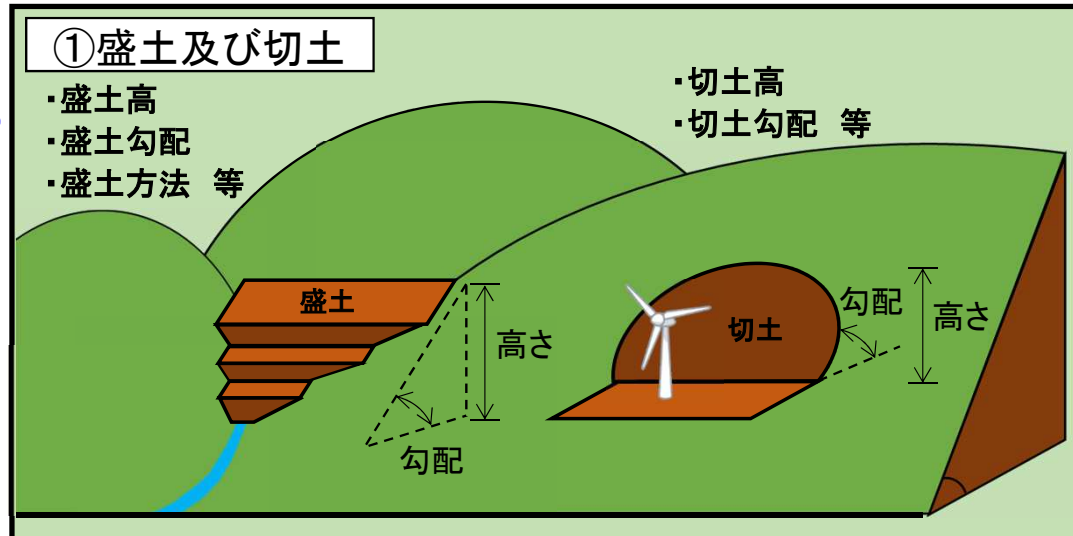
8月11日 第1回アドバイザー会議
(9月中 中間とりまとめを目指す)

アドバイザー会議での検討項目

① 盛土及び切土

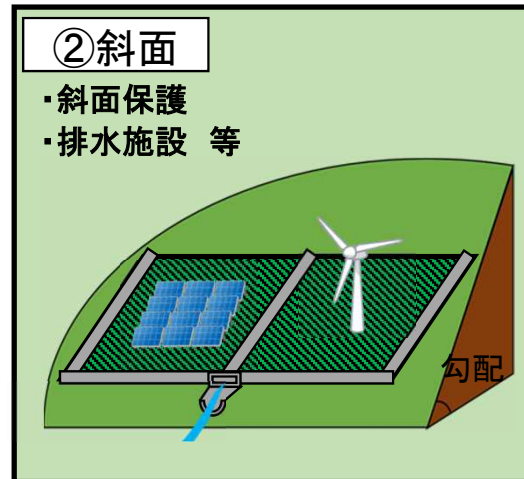
- ・盛土高
- ・盛土勾配
- ・盛土方法 等

- ・切土高
- ・切土勾配 等



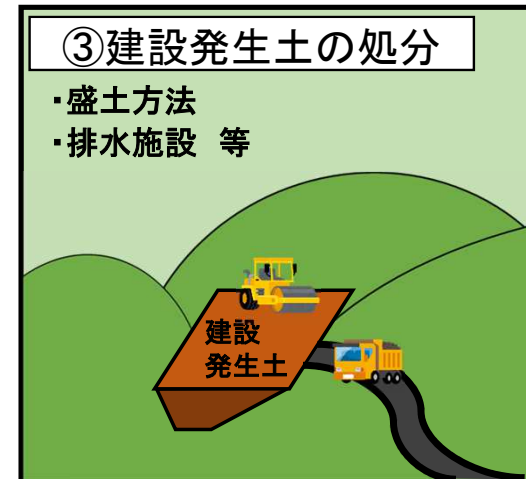
② 斜面

- ・斜面保護
- ・排水施設 等



③ 建設発生土の処分

- ・盛土方法
- ・排水施設 等



入江聖奈選手 金メダルおめでとう！

【入江聖奈選手】(20歳、日本体育大学3年生)

漫画「がんばれ元気」に感化され、小学2年で米子市内のシュガーナックルジムに通いはじめる。

- ・小学5年～中学3年まで、全日本アンダージュニアで5連覇
- ・H28～29年：全日本女子選手権ジュニアで2連覇
- ・H29年：国際協会女子ユース選手権フライ級で銅メダル。
- ・H30年：世界ユース選手権で銅メダル
- ・R元年：世界選手権ベスト8(五輪決勝相手のネスティ選手に敗退)
- ・R2年：東京五輪アジアオセアニア予選で準優勝

東京五輪1年延期、日体大の部活の一時休止を乗り越え、五輪金メダルを目指して奮起し、東京五輪女子フェザー級で優勝！



鳥取県は、五輪を目指すジュニアアスリート支援を格段に強化

- ・東京オリパラでの活躍が見込まれる選手を指定し遠征経費等を支援(東京オリパラターゲット競技事業、H28～)
→入江選手にはH28から適用し、コーチ、トレーニング、強化合宿等に係る経費を支援。
- ・将来世界での活躍が期待されるアスリートを発掘し育成(ジュニアアスリート発掘事業、H26～) など

入江聖奈選手 金メダルおめでとう！

鳥取県政史上初めてのことで
これまで県選手の金メダル獲得を想定していませんでしたので...

「スポーツ最高栄冠賞」創設

(スポーツ顕彰を超える最高位)
対象:オリンピックでの金メダル獲得者等

併せて「県民栄誉賞」

- ①表彰式典
顕彰行事を調整
- ②入江選手のこれまでの足どりやジュニア時代からの活躍の様子を紹介する企画展
(今回東京五輪に出場した他の5人の選手や、キャンプ受入れ等交流先の国々の選手の活躍状況についても紹介)
- ③横断幕掲示(県庁、西部総合事務所)

